

# WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600  
東京サマーランド スポーツクラブハウス  
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary  
第2580地区



持続可能な  
インパクトを  
生み出そう

東京秋川ロータリークラブ  
2026-27年度 1号

2026年7月2日  
第2449回例会

| 出席報告 | 会員 | 出席 | 欠席 | 免除 | 出席率   |
|------|----|----|----|----|-------|
|      | 40 | 29 | 11 | 0  | 72.5% |

## 本日のテーマ

## 2026-27年度 初例会「会長所信表明」

## 次回以降のプログラム

7月 9日(木) 直前会長『1年を省みて』  
7月16日(木) 委員長方針  
7月23日(木) 取りやめ(祝日のある週にて)

第2448回の出席率訂正 会員41名 出席31名 メークアップ6名 欠席4名 免除0名 訂正出席率 90.2%

## 会長方針

## 思いやりを持って社会貢献し、友情を深めよう

### 本日のお客様

- ・多摩グループガバナー補佐 芳野 隆宣様(東京青梅ロータリークラブ)
- ・多摩グループ幹事 神尾 律彦様(東京青梅ロータリークラブ)
- ・株式会社西の風新聞社 代表取締役 伊藤 寛子様
- ・株式会社西多摩新聞社 関根 和美様



芳野 隆宣 様



神尾 律彦 様

### お客様ご挨拶

芳野ガバナー補佐より、グローバル補助金、プロジェクト711、世界ポリオデーに合わせた『プロギング2026』の推進について説明がありました。

- ・グローバル補助金事業:単独クラブでは難しい規模の事業を、グループ全体で協力して実施します。
- ・プロジェクト711:会員の職業奉仕に焦点を当て、クラブ内で専門性を活かせる仕組みを構築します。
- ・レッド・プロギング2026:10月24日(土)に都立狭山公園で開催。ジョギングとゴミ拾いを組み合わせた新しいフィットネスで、ポリオ根絶への思いを世界へ発信します。地区のモデル事業として、秋川クラブのパワーを期待しています。

### 会長報告 町田 勝俊 会長

本年度、第54代会長を務めさせていただきます町田です。2016年11月に入会し、今年で10年を迎える節目に、歴史と伝統ある当クラブの会長という重責を担うこととなり、大変光栄に思うと同時に、その責任の重さを痛感しております。今年度のテーマは「思いやりを持って社会貢献し、友情を深めよう」と掲げました。「思いやり」とは、単なる優しさではなく、「相手を理解しようとする」「相手を尊重すること」「行動に移すこと」の3要素から成ります。自分の心で相手の心を想像し、相手が本当に必要としていることを考える姿勢こそが、真の社会貢献と会員間の友情深化につながると確信しています。

#### 【今年度の基本方針】

会員同士の友情と親睦の充実:例会や親睦旅行、委員会活動を通じて、笑顔あふれるクラブ運営を目指します。  
会員増強と会員維持:新入会員へのフォロー体制を充実させ、長く活動できる環境を整えます。  
地域社会への継続的な奉仕:青少年育成など、地域に必要とされる活動を継続し、「持続可能なインパクト」を生み出します。

職業奉仕の実践:4つのテストを実践し、信頼される職業人を目指します。



## 幹事報告 柳 新次 幹事

柳幹事よりガバナー月信・バギオ通信の確認依頼、I・M懇親会DVD配布完了を報告。  
新企画『今週シリーズ』を開始し、『今週の感謝』『気づき』『会員紹介』『ロータリー豆知識』『今週の一言』を毎週紹介することとなりました。

### —— 今週の感謝 ——

事務局が本当に一生懸命準備をしてくださいました。また、小林さんも時間外にもかかわらず遅くまで手伝ってくださいました。お二人のおかげで今日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

### —— 今週の気づき ——

幹事になって最初に思ったことは『幹事って、本当にいろいろ大変なんだなあ。』ということです。慶君、和君も、見えないところで本当に頑張ってくれていたんだと実感しました。しかし、2人ともやってよかったと言ってたので私も頑張ります。

### —— 会員紹介 ——

いつも穏やかで優しい鶴田さん。実は昔は、すぐ怒鳴る人だったそうです。

### —— ロータリー豆知識 ——

今年度から毎週、お一人ずつ『これ、みんな知ってる?』というロータリーの豆知識や経験談をご紹介いただきました。

第1回は、岡野ロータリー情報委員長：クラブ概況・規約をよく読みましょう

### —— 今週の一言 ——

張り切りすぎない

一年は長いです。頑張ることも大切ですが、無理をせず、楽しみながら続けることも大切です。この言葉を胸に一年間頑張ります。



## 委員会報告

### ・麻沼前ガバナー補佐

6月29日(月)、浅草ビューホテルにて前年度納め会が開催され、秋川RCからは坂谷前グループ幹事、山下前年度会長、高橋前年度幹事が出席しました。

### ・ロータリー財団委員会 秦委員長

2026年7月の為替レートは1ドル=162円です。

### ・地区委嘱委員会

齊藤章浩君が2026-27年度「地区青少年交換委員会」委員に委嘱されました。



麻沼 恵 君



坂谷 充孝 君



秦 英準 君



齊藤 章浩 君・町田 勝俊 君

## 今月のお祝い 親睦親睦委員会・出席奨励委員会

### 会員誕生

田代 淳也 君 7月 7日  
平尾 義和 君 7月22日  
新井 悠央 君 7月29日

### 結婚記念

高橋 和宏・菜摘夫妻 7月23日

### パートナー誕生

井上 友子 様 7月17日

### 在籍記念

15年 中村 一広 君

### 皆出席

7年 佐藤 旭克 君  
5年 佐藤 慶 君  
5年 沼田 哲史 君  
1年 植松 一良 君

## — SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **107,000円**

- ・多摩グループガバナー補佐 芳野様・多摩グループ幹事 神尾様(東京青梅ロータリークラブ)  
秋川クラブの皆様、一年よろしく申し上げます。
- ・町田 勝俊 会長・柳 新次 幹事  
芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、本日はようこそ、おいでくださいました。  
会長・幹事、力を合せて頑張りますので、一年間よろしく願いいたします。
- ・高橋 和宏 君  
一年間、幹事として皆様のご協力ありがとうございました。
- ・坂谷 充孝 君  
町田・柳年度、全力でよろしく願いいたします。
- ・芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、本日はようこそ、おいでくださいました。  
町田会長・柳幹事、楽しい一年をよろしく願いいたします。
- ・榎本 義晴 君  
一年よろしく願いいたします。
- ・岡野 悦史 君  
町田会長・柳幹事、楽しい一年をよろしく願いいたします。
- 山下前会長、高橋前幹事、お疲れ様でした。
- ・松村 博文 君  
芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、本日はようこそ、おいでくださいました。  
町田年度のスタートおめでとうございます。
- ・岡部 道明 君  
会長・幹事一年間頑張ってください。  
芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、一年間よろしく願いいたします。
- ・井上 文喜 君  
本年度もよろしく願いいたします。
- ・佐藤 慶 君  
会長・幹事、芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、新任おめでとうございます。
- ・麻沼 恵 君  
芳野ガバナー補佐・神尾グループ幹事、本日はようこそ、おいでくださいました。
- ・平尾 義和 君  
本人誕生祝いをいただいて。
- ・新井 悠央 君  
早退いたします。

— 全員協議会 — 町田 勝俊 会長 新会長所信表明:決意と活動方針

## 思いやりをもって社会貢献し、 友情を深めよう



### 1. 新会長としての決意と感謝

歴史と伝統あるクラブの会長に就任する重責を痛感し、歴代会長や諸先輩方への深い敬意と感謝が表明されました。在籍10年を迎える節目での大役に、身の引き締まる思いであることが語られました。

### 2. 今年度の活動テーマ「思いやり」の真髄

今年度の核となる「思いやり」を、単なる優しさではなく、「相手を理解しようとする事」「相手を尊重すること」「行動に移すこと」の3要素から成るものと定義。例えば、「落ち込んでいる人に無理に励まさず、静かに寄り添う」ことも、相手が本当に必要としていることを考えた「思いやり」の一つの形であると説明されました。「自分の心で相手の心を想像すること」こそが思いやりの本質であり、この精神の実践が真の社会貢献と会員間の友情深化につながると強調されました。

### 3. 4つの基本方針と具体的活動計画

クラブの未来を見据え、以下の4つの基本方針が掲げられました。

- 会員同士の友情と親睦の充実:ロータリーの原点である「友情」を育み、「例会に出席したくなる」「仲間に会うのが楽しみになる」クラブを目指します。例会や親睦旅行、委員会活動を通じて、笑顔あふれる運営を目指します。
- 会員増強と会員維持:クラブの未来のため、新しい仲間が長く活動できる環境づくりが最大の目標です。「会員一人一人が広報担当であり、会員増強委員である」という意識と、新入会員への手厚いフォロー体制の重要性が語られました。
- 地域社会への継続的な奉仕:先輩方が築いた信頼を受け継ぎ、地域に必要とされる奉仕を展開します。特に未来への投資である「青少年育成」に力を入れ、継続的な支援こそが「持続可能なインパクト」の実践であると述べられました。
- 職業奉仕の実践:ロータリー独自の価値観である「職業奉仕」を実践し、「4つのテスト」を日々の職業生活で活かすことが、地域からの信頼とロータリーの価値向上につながると強調されました。

### 編集後記 週報委員会 担当 瀬戸岡 正人

新年度最初の例会では、新たな体制のもと一年間の方向性が共有され、会員相互の友情を深め、地域社会への奉仕を実践しながら、笑顔あふれる一年を目指します。